

武蔵引田駅北口土地区画整理事業を凍結し、計画の見直しによる予算の縮減をもとめる陳情書

陳情趣旨

秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業の事業計画書が、昨年10月に第一回変更になり、事業目的に平成7年に秋川市と五日市町が合併し「あきる野市」が誕生したことにより本地区が市の中心部となった、とあります。しかしその位置付けはとて無理があると考えます。事業計画書には、100メートルに満たない所に18メートル、16メートルの二本の都市計画道路、しかも1本の五日市線を跨ぐ道路はオーバースペースの為平面になるのが平沢平井線近くに成るのもう1本の16メートルが必要との事です。1時間に2本や3本の五日市線の踏切をオーバースペースにする、啞然とせざるを得ません。商業施設は近くにイオンがありとても繁盛させるのは至難の業と思えます。こうした計画は中心と位置付けたことによるとすれば位置付け事態を考え直すべきです。住宅地と工場用地との境の公園は工場側に作らせるのが道理であるし、工場用地への12メートルのアクセス道路は不要で、平沢平井線からのアクセスを考えるべきであります。

住宅地の住民は70歳を超えた方々が多くこれからの長年月の事業にはとても無理を強いることとなります。差し迫り必要な生活道路の整備と公共下水道の建設こそ急ぎ進めるべきであります。等々本事業は予算の大幅な縮減を検討するべきと考えます。

又、あきる野市内の実情は、整備を必要とされている生活道路、エアコンのない児童館、雨漏りのする地区会館、学校の臭いトイレ、駅・公園のトイレ、のバス等公共交通の充実等市民から待ち望まれている施策が山積しています。

又、産業振興を望むなら、現存する五日市地区や秋川地区の産業振興をどう図るかを優先すべきであります。武蔵引田駅北口区画整理事業をあらゆる角度から徹底的に見直し予算の縮減を求めます。

陳情要旨

- ① 当面事業を凍結し計画の見直しによる予算の縮減を求めます。

2019年 8月2 / 日

陳情者

あきる野市油平16-3

影山

保

あきる野市二宮2406-12

片野坂

勝代

あきる野市議会議長 天野 正昭 殿

